

さらなる改革、そして成長へ。
未来輝く枚方のための「約束」



枚方市長
伏見たかし



これからも、愛する郷土、枚方市を、
市民が誇りに思えるまち、住みたいと思えるまちに

伏見たかし(枚方市長・大阪維新の会顧問) 昭和43年4月生まれ(51歳)

うみのほし幼稚園、高陵小学校、枚方第一中学校、寝屋川高校、京都産業大学卒業。商社での会社員生活を経験した後、枚方市議会議員選挙に当選、その後大阪府議会議員を経て、平成27年8月に行われた枚方市長選挙に当選。市長就任後は「豊かで誇りある枚方」の実現のために日々奮闘中。

19/08 枚方の未来を創る会

〒573-0023 枚方市東田宮1-11-33
fushimi@ray.ocn.ne.jp fax:072-896-5192

人口減少、少子高齢化、経済低成長の環境の中で、前例踏襲を継続すれば衰退の道をたどるのみです。伏見たかし枚方市長は、この4年間、改革により財源を生み出し、都市基盤の整備、子育て支援など重点施策を設定し、未来への投資を推進してきました。その結果、転入人口の増加、子育て世代の転入超過の流れを作ることができました。しかしながら、人口の転出超過の状態を脱するには至っておらず、改革は道半ばであります。人口増と経済成長がめざすべきゴールではありません。セーフティネット、障害者、高齢者の生活を支える福祉施策、市民の安全を守る防災・防犯施策などを維持、発展させるには、それらを支える「成長につながるサイクル」を確立する必要があります。さらに踏み込んだ行財政改革を断行し、枚方市駅周辺再整備や安心して子育てのできる環境の充実など、市民のみなさんが実感できる枚方の成長を実現する——今号では、こうした伏見市長の決意と、未来輝く枚方のための「約束」をお伝えします。

伏見たかし4年間の実績

①身を切る改革・財源を生み出す徹底した行財政改革

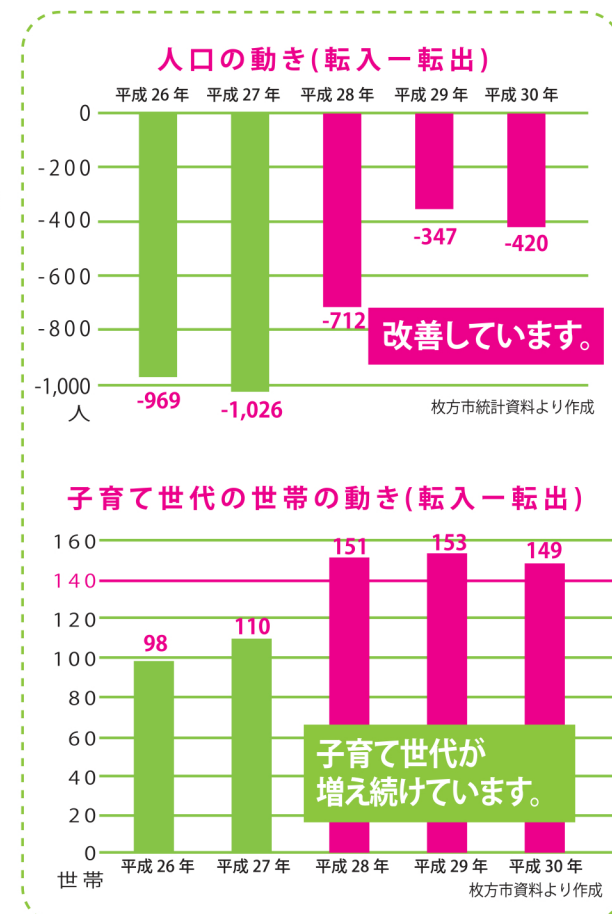
- 市長給与を2割カット、退職金をゼロに(効果額:約3,500万円)
- 全ての技能労務職員の給料を民間並みの水準に見直し、官民格差を是正
- 特別会計・企業会計への一般会計繰出金の抑制(H27～28の効果額:約27億円)
- 未収金対策の強化(H29の効果額:約4億5千万円)
- 市有財産の有効活用(ネーミングライツを導入した「ニッペパーク岡東中央」)

②手厚い子育て支援のまち枚方の実現

- 平成31年4月時点で待機児童ゼロを実現
- 保育所、幼稚園等における第3子以降の保育料の無料化
- 多子世帯の子ども医療費負担軽減(大阪府内初)
- 市立幼稚園6園で3年保育と土曜日・三期休暇中の預かり保育をスタート(うち4園では小規模保育施設を園内に設置)

伏見市長が就任した平成27年は36名の待機児童がいましたが、4年で待機児童ゼロ(国基準)を達成しました。

	平成27年	平成31年
入所児童数	7,151人	7,776人
待機児童数	36人	0人



伏見たかしの「約束」ー 今後の重点施策

1. 魅力で人をつなぐまちづくり

1. 子育て環境の充実

✓ 第2子以降の幼児教育・保育の無償化

✓ 待機児童の解消～通年の「ゼロ」へ

小中学校の余裕教室等を活用した「待機児童用保育室」などにより、早期に通年の待機児童ゼロを実現

✓ 留守家庭児童会室の土曜日・夏休み等の開室と放課後の安全な居場所づくり

■「子どもを守る条例」の制定

4. 産業・観光の活性化

✓ ホテルの誘致と大阪・関西万博によるインバウンド増加を枚方の観光へ

✓ NICT[※]と市内企業との連携で新産業創出

※国立研究開発法人情報通信研究機構

■「農」を生かした産業の活性化

■ベンチャー創業支援

2. 教育環境の充実

✓ 全中学生に1人1台タブレットPCを

✓ 中学校給食は全員給食へ

✓ 学校園トイレの洋式化を完了へ

■「生きる力」を育む教育

小学校でのプログラミング教育、幼・小・中12年間を見通した英語教育、学校図書館の充実、いじめの未然防止のため、通報アプリの導入等

■小学校における教科担任制の推進

■学校園環境整備と教職員の多忙化対策



3. 魅力ある都市基盤の整備

✓ 枚方市駅周辺の再整備

宿泊機能、創業支援機能、子どもが楽しめる施設、図書館、長距離バスや観光バスの発着ターミナルなど、枚方市の未来に必要な魅力ある都市機能を備えたまちへと再生するため、民間事業者との連携により、見える形で再整備を進める

✓ 都市計画道路の整備

第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また通学路の安全な歩行空間の確保につながる御殿山小倉線や中振交野線の整備

■市民文化の発信拠点となる総合文化芸術センターの整備

■京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

■市北部地域の交通環境整備

新名神高速道路開通に向けた渋滞対策、スマートICに関する調査や課題検証、樟葉駅前広場ロータリーの再整備

■淀川渡河橋の整備促進

■香里ヶ丘図書館のリニューアル

■王仁公園の再生プロジェクト

2. 安心で人をまもるまちづくり

5. 安心・安全のまちづくり

✓ 急発進防止装置購入に助成

生活にマイカーが必要な高齢運転者の事故防止

✓ 枚方版防災アプリの導入

避難経路や避難所の情報入手、安否確認など災害時コミュニケーションが可能に

■通学路等の安全対策の強化・防犯カメラの増設

■浸水対策の強化

■総合的な防災対策の強化

■避難所の機能強化、避難生活環境の充実

■既存住宅の耐震化への支援

■上下水道施設の耐震化・長寿命化

6. 健康・福祉のまちづくり

✓ 手話言語条例の制定

✓ 健康経営[※]の市内事業所への普及

※NPO 法人健康経営研究会の登録商標

■高齢者の居場所づくりと外出支援

■健康寿命の延伸と終活支援

■健康づくりの地域拠点整備

■重度障害者の入院支援

■受動喫煙防止・喫煙者への禁煙サポート

7. 多様な生活・社会の課題解に取り組むまちづくり

✓ SDGsの推進

国連「SDGs（持続可能な開発目標）」の17の目標に係る取り組み、性的マイノリティへの積極的支援

✓ 要援護者等への総合的な支援体制

疾病や障害、介護、出産・子育て、生活困窮など様々な課題を抱える市民のワンストップ相談窓口を開設

■新婚・三世代同居支援などの充実

■空家・空地対策の充実

■ごみ減量とマイクロプラスチックによる海洋汚染の防止

3. 改革で人を支えるまちづくり

8. 行財政改革

✓ 身を切る改革

市長給与 20%カットと退職金不支給、特別職の期末手当の減額等

✓ 総人件費5%の削減

民間委託の推進やAI・ICT等を活用したスマート自治体の推進、働き方改革など、効率的・効果的な行政運営への転換を進めることで、総人件費約200億円の5%を削減

✓ 電子申請の導入

添付書類の見直しやキャッシュレス化、総合アプリを用いた電子申請システムを導入

✓ スマート自治体の推進

AI等による業務の自動化やアウトソーシング
市役所の健康経営や働き方改革を推進

✓ スマートシティ推進組織の新設

AIやICT・IoTを防災・交通・産業・教育・健康などの分野で活用していくため、戦略から運用までを一元的に統括する推進組織を設置

■「見える」行政改革の推進

財源など改革によって生まれた効果やその活用を「見える」化

■公立保育所の民営化

年1カ所程度を目標に公立保育所4園の民営化を進め、保育所定員の拡大につなげる

■指定管理者制度の導入拡大

■効率的・効果的なごみ収集処理

一般ごみの収集業務の委託拡大、事業系ごみ手数料の見直し

■外郭団体等への支援のあり方の見直し